

□■養成所ニュースプラス第 16 号 2026□■

9 月 10 日から 16 日は、自殺対策基本法に基づく「自殺予防週間」です。日本の小中高生の自殺者数は近年増加傾向が続き、2025（令和 7）年は統計開始以降過去最多の 538 人と、深刻な状況です。また、10 歳代、20 歳代の死因では自殺が最も多くなっていることから、「自殺予防週間」では、電話や SNS による相談支援体制の拡充や、主に子ども・若者に向けて、ポスターや動画による相談の呼びかけなど集中的な啓発活動が行われます。

今週の Plus Quiz は、「ソーシャルワークの理論と方法」から「ボルクマンによるセルフヘルプ・グループの『体験的知識』と『専門的知識』」に関する問題です。この問題も正解したら終わりではなく、正解ではない選択肢はどの知識なのかも合わせて考えてください。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第 38 回問題 74】次の記述のうち、ボルクマン（Borkman, T.）によるセルフヘルプ・グループの「体験的知識」（Experiential Knowledge）と「専門的知識」（Professional Knowledge）に関する説明として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1. 「専門的知識」では、理論的、標準化された方法やエビデンスよりも実践的であることに価値が置かれている。
2. 「専門的知識」は、メンバーが行動することを通して学び、変化することで培われる。
3. 「体験的知識」では、自分の感情的側面や自己評価が加味されている。
4. 「専門的知識」では、今、ここでの具体的な行動と次の観察可能な結果が重視される。
5. 「体験的知識」と「専門的知識」は、相互排他的である。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・（37 期生）9 月 1 日に、該当者に対して修了見込証明書類一式をレターバックライトにて発送いたしました。

修了見込証明書は国家試験の受験申込に必要な重要書類となりますので、1 週間経っても届かない場合は当養成所までご連絡ください。

- ・（37-38 期生）教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

※（37 期生）本養成所受講認定基準を満たす支給希望者には、10 月末日付けで、支給申請書類一式を発送いたします。

お手元への到着は 11 月上旬頃の予定です。今しばらくお待ちください。

※（38 期生）本養成所受講認定基準を満たす支給希望者には、11 月 15 日付けで、支給申請書類一式を発送いたします。

お手元への到着は 11 月下旬頃の予定です。今しばらくお待ちください。

- ・受講の手引に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 39 回社会福祉士国家試験は、令和 9 年 2 月 7 日（日）です。

詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/index.html>

- ・第 39 回国家試験の受験申込受付が始まりました。

今年度より、全ての受験者がインターネットでの受験申込になります。社会福祉振興・試験センターのホームページに、インターネットによる受験申し込み前の準備及び申込方法の動画等、情報が公開されています。必ず確認のうえ、お早めに手続きを進めてください。

詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/>

- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟（以下、ソ教連）主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://www.spw-mosi.com/exam/>

※本日が締め切りですので、検討されている方は早急にご確認ください。←New

- ・養成所ニュースプラス第 14 号に、ソ教連国試対策のソゼミ新企画「みんなで一緒にソ教連模試 ONLINE」のご案内（チラシ）を添付しております。

詳しくはこちら→<https://jaswe.jp/moshi-online.html>

- ・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。

2 本目の「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」が視聴可能となりました。是非ご活用ください。

受験対策ページへアクセスはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529

※パスワード等の案内は、養成所ニュースプラス第 2 号、第 4 号に添付しています。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第 12 回／ソーシャルワークの理論と方法】

1 第 37・38 回の科目の傾向

36 回以前で頻出であったシステム理論とスーパービジョンが 38 回では出題がありませんでしたが、従来から出題が多かった大項目「ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ」「ソーシャルワークの過程」「集団を活用した支援」からは複数出題されました。

この科目の出題数は 9 問ですが、事例問題が半分以上（37 回が 6 問、38 回が 5 問）出題されています。事例問題には、専門知識を問うもの（37 回問題 70「特別調整」や問題 72「実践モデルやアプローチ」、38 回の問題 72「記録」等）と事例内容を読み解くもの（ソーシャルワーカーの所属、どの時点、どの段階での支援か）があります。後者では、ソーシャルワーカーの価値や原則も問われる傾向にあります。

五肢択二問題は、37 回は 3 問、38 回は 4 問でした。

2 国家試験の対策

主に基本的な知識が問われますが、基本的な知識を正確に理解しておかないと、正解すべき問題を取りこぼすことにもなります。

例えば、エコマップやライフモデルは誰でも知っている知識ですが、第 38 回問題 71「ハートマンのエコマップ」はその「活用」について問われ、問題 77「ジャーメインとギッターマンのライフモデル」はその「適応」という概念が取り上げられました。問われ方にひとひねりがあり、五肢択二問題だったことでさらに正解率が下がりました。問題を多く解くことで、問われ方が異なっても慌てずに対応できるようになります。

〇〇アプローチの理解は苦労している方も多いのではないのでしょうか。しかし、アプローチの数は決まっています。過去 5 年間の正解五肢択は、「問題解決」以降のアプローチです。また、5 年間で 15 のアプローチが選択肢に出てきます。過去問を繰り返せば、アプローチの基礎知識は身に付きます。特に、「問題解決アプローチ」は「課題中心アプローチ」と混同しがちです。確実に押さえましょう。月並みではありますが、多くの問題を解くことで問われ方に慣れることができ

ます。確かな知識で9問中6～7問を目指しましょう。

【Plus Quiz・・・・・・正答と解説】

「ボルクマンって誰？」と血の気が引いた先輩もいたと思います。確かに受験参考書には見当たりませんし、中央法規のテキストにも出てこない名前です。しかし、出題基準の中項目「セルフヘルプグループ」の小項目には「体験的知識」とあります。小項目は例示と言われているだけに、説明できるようにしておくことが国試対策のひとつでもあります。「体験的知識」の特性には（１）実用的・実践的、（２）「今・ここ」での方向性、（３）全体的・包括的の３点が挙げられます。

過去問トライアルをやってみて、見たことも聞いたこともない内容が出題されるという体験ができたと思います。周知の準備をすることは必要ですが、見慣れない言葉があっても慌てずに、問題文や選択肢からヒントを探すことです。この問題も「体験」と「専門」という言葉から正解を読み解くことができそうです。

1. × 選択肢は「体験的知識」の説明です。「専門的知識」は、体系的な理論や標準化された方法に基づいた知識です。
2. × 選択肢は「体験的知識」の説明です。「専門的知識」は、一般的な理論や方法に関する知識です。
3. ○ 「体験的知識」は、個人の感情的側面や自分自身の変化を通じた自己評価を伴います。メンバーそれぞれの体験やグループで得たものを情報共有し、多種多様な知識を蓄積していくことで「体験的知識」が形成されていきます。
4. × 選択肢の特性があるのは「体験的知識」です。「専門的知識」は、普遍的な原理・原則を含む法則的な側面があります。
5. × セルフヘルプ・グループは、メンバーに援助専門職が含まれていないことでグループの本質が尊重されます。しかし、グループの立ち上げ支援や情報提供等側面からの援助が行われることもあり、「相互排他的」とは言えません。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus